



# 一中の風

令和6年度11月号

No. 7

小金井市立小金井第一中学校 学校だより

## エジソンに学ぶ成功の秘訣

校長 門脇 利種

1914年12月、エジソンが67歳のときの事です。災難が彼を襲います。ウエストオレンジにあった研究施設が火事になってしまったのです。連絡を聞いて駆けつけ、実験道具や資料など重要なものを持ち出そうと陣頭指揮を執りましたが、時すでに遅し。施設は全て焼け落ち、当時の金額で500万ドル近い損害を被ってしまいました。

目の前で、今まで自分が築いてきた物全てが燃え落ちる光景を眺めながら、エジソンがしたこと。それは家族を呼び、こう告げることでした。「こんな大きな花火大会はまず見られない。とにかく楽しめ」



そして集まった記者たちに、「自分はまだ67歳でしかない。明日からさっそくゼロからやり直すつもりだ。今まで以上に立派な研究施設をつくれればいいのだ。意気消沈している暇はない」と、平然と言ったのです。

エジソンは、常識だけでなく、時間という概念に縛られることも大変嫌っていました。

普通、我々は「1日=24時間」という時間の中で生活しています。しかし、エジソンに言わせれば、1日が24時間であるというのは、人間が人工的につくったもの。自分が時間の主人公になれば、1日を36時間でも48時間でも、自分が好きなように使えるはずだ。というのです。

エジソンの工場の壁には、長針も短針もない大きな時計が掛けられていました。ある日、友人の自動車王フォードが「針がなければ時計の意味がないのでは」と訊ねると、「そうじゃない。時間というのは、自分でコントロールすべきもの。時計のような出来合いのパロメーターに左右されているようでは何もできない。疲れたと思えば、その場で休めば良い。仕事が完成するまでが昼間だ。自分に合ったリズム、これを自分でコントロールすることが大切だ」と答えたと言います。

驚異的なひらめきをつかんで形にし、「天才」と称されることの多いエジソンですが、決して努力を軽んじていたわけではなく、むしろその逆でした。



世界中から寄せられる「どうすれば成功できるか」という問いに、エジソンは、「野心、常識にとらわれない創造力、昼夜を問わず働く意志」の3つの要素を挙げています。1日18時間は働くことにしたいといっていますから、人の2、3倍は濃密な仕事人生を歩んできた自負があったのでしょう。ですから、エジソンにとっては「まだ67歳」。まだまだ大きな仕事をするには十分な時間がある、という発想だったのです。それどころか、「肉体は魂の仮の宿の木、滅びれば次の宿り先に移動する」という死生観を持ち、それを証明するための実験を重ねていくくらいですから、「死」という概念すら超え、次なる野心に心を燃やしていたのです。

## 生徒総会

10月28日(月)

生徒会本部役員、各専門委員長も本格的に2年生へとバトンタッチしました。10月28日の生徒総会では、事前に出ていた質問・意見に対して各専門委員会が積極的に回答し、よりよい学校生活のために活かされました。(村島)



## I組校外学習

11月1日(金)



暑くもなく、寒くもなく、絶好のコンディションで高尾山に行けることができました。登山前半の1号路は、舗装されているとはいえ傾斜もきつく、息も上がって大変でした。さる園での見学・休憩を挟み、後半の4号路もみんなで励まし合いながら登り、無事に山頂までたどり着くことができました。下山途中に寄った薬王院ではお参りをしたり、おやつを食べたりして充実した校外学習となりました。(仙澤)



### 【第58回中学生の「税についての作文」受賞】

武蔵野納税貯蓄組合総連合会会長賞

東京税理士会武蔵野支部支部長賞

公益社団法人武蔵野法人会会長賞



# 活躍する一中生!



### サッカー部

東京都中体連新人大会 10 支部予選

グループリーグ突破 決勝トーナメント進出しました!

🏆引き続き応援をお願いします🏆

